

カトリック河原町教会だより

2015年8月

京都済州教区交流 10周年感謝ミサ 済州教区から 姜禹一(カン・ウイル)司教を迎えて



「京都済州教区交流 10周年感謝ミサ」が 7月5日の10時半から、済州教区から来日された姜司教と大塚司教、一場神父の共同司式によってささげられました。ミサの中では、姜司教と大塚司教の霊名(ペトロとパウロ)の記念日もお祝いし、姉妹教区がこれからも互いに手を取り合っ

て歩んで行けるようにと願い、一同で祈りをささげました。

[写真提供：京都教区広報委員会]

聖母の被昇天

洛東ブロック担当 キム・テジョン神父

「聖母の被昇天」の祭日は、神の母聖マリアの祭日、復活祭、主の降誕と共に守るべき大祝日です。聖母被昇天は、聖母マリアが地上の生活を終えられて、霊魂と肉体が一緒に天から呼ばれ、昇天された事を記念する日です。

聖母被昇天を扱った数々の文献をみると、共通しているのは、聖母マリアが昇天されたのは、マリア様の家があったエフェソでの出来事であったと書かれている点です。

7世紀に至っては、マリア様が亡くなられた時、そこにいなかった使徒トマスが遅く着いて、マリア様の姿を最後に見る為に直接お墓へ入ってみました。マリア様の遺体を覆った寿衣だけがあって遺体はなくなっていた話が登場します。後代の伝承によると、聖母マリアご自身が昇天した事を教えるために自分の帯を使徒トマスに天国から



与えた、という言い伝えもあります。

聖母被昇天の教義のキーポイントは「マリア様が救援された」ことです。それから私たちも神様に救援を願うだけでなく、マリア様の「仲介」を信じて、神様に私たちの願いが届くようにとお祈りをします。

また、来日した最初の宣教師である聖フランシスコ・ザビエルが、鹿児島に上陸して最初のごミサをささげたのが、ちょうど聖母被昇天の祭日にあっていたことと、韓国のカトリック教会の勢いが大きくなっていったのは、レジオマリエの影響を受けたからでもあり、これらは聖母マリアの助けを戴いた事だと言えます。

皆さん、聖母マリアと共に祈りをしながら貧しい人々に奉仕しているレジオマリエと一緒に祈りをしませんか。

「社会司教委員会シンポジウム」が開催

2015年7月4日(土)午後2時～5時

『現代世界憲章から何を学ぶか～発布50周年にあたって』 教皇フランシスコ『福音の喜び』が生まれた原点

と題するシンポジウム(日本カトリック司教協議会・社会司教委員会主催)が聖堂において開催され、多くの参加者が集いました。

大塚司教の司会によって進められ、済州教区のカン・ウイル司教の基調講演(90分)、東京大司教区の幸田和生司教によるパネルディスカッション導入の講話(30分)が行われました。

両司教は『現代世界憲章』と教皇フランシスコの『福音の喜び』からさまざまな言葉を引用され、歴史を見据え、教会は「世に背を向けて、神に向かう」姿勢から抜け出す必要があると強調されました。そして、教会は現代社会の出来事と、特に貧しくされた人々に目を向け、イエスに倣って、どのような具体的な行動をしていくべきかという、大きな課題を与えられました。

また、カン司教は、昨年韓国を訪問された教皇フランシスコの済州島での心とむエピソードなども語られ、貴重な時間となりました。



[写真提供：京都教区広報委員会]

8月の聖人 ライムンド・ノンナート (8月31日)

ライムンドは、1204年にスペインで生まれました。母は出産時に亡くなり、帝王切開で取り出されたため、「ノンナート」(ラテン語で「生まれざる」という名前が与えられました。



当時、8世紀頃からヨーロッパ諸国に侵略したサラセン人(イスラム教徒)は、スペインを中心に多くのキリスト教徒を奴隷として北アフリカに売り飛ばしていました。ライムンドは、捕虜となったキリスト教徒救済のために設立された「メルセス会」に入会、3年間の修練の後にアルジェリアに派遣され、その解放のために働きます。身代金がなくなった時は自らが身代わりとなって残り、何人かのサラセン人を改宗させました。

本国から賠償金が送られてくるまでの8ヶ月間、残酷極まりない拷問を受けますが、キリストのご受難を偲んで耐え抜きました。本国からの賠償金と速やかな帰国通知が着くと同時に、彼の働きに感嘆した教皇グレゴリオ9世から枢機卿の位授与の知らせが届きます。

ようやくスペインに帰国したライムンドですが、過酷な生活で体を壊したためか、ローマに向かう途上で熱病に倒れ、1240年8月31日に帰天しました。その後、教皇アレクサンドロ7世によって列聖されたのは1655年のことです。(編集委員)

✦ 「平和旬間」(8月6日～15日)の始まり

1981年2月に来日した教皇ヨハネ・パウロ二世は、広島で「過去を振り返ることは将来に対する責任を担うことである」との平和メッセージを出しました。平和を思うとき、平和は単なる願望ではなく具体的な行動をとまなうものでなければなりません。そこで、日本のカトリック教会はその翌年(1982年)に、忘れることのできない広島や長崎の事実を思い起こすに適した、8月6日から15日の10日間を「日本カトリック平和旬間」と定め、そこから始まったものです。



② 平和旬間行事(八月九日)
予定通り、「いま一度平和を考える」をテーマに『平和の巡礼者ヨハネ・パウロ二世』DVDを鑑賞、分かち合いをする。行事ポスターを作成し、家庭に持ち帰っての掲示を依頼する。

長期目標決定後に、新しい短期目標を各教会で作成

○ 協議事項
① 洛東ブロック会議(七月二十五日)
・ 平和旬間行事について各教会の予定を確認し合う。
・ 共同宣教司牧については、司祭会議で決められた長期目標(それぞれの場で福音に生きている信徒の「分かち合いの場」を設ける)が、ブロック会議において提案される。

■ 協議事項
① 洛東ブロック会議(七月二十五日)
・ 平和旬間行事について各教会の予定を確認し合う。
・ 共同宣教司牧については、司祭会議で決められた長期目標(それぞれの場で福音に生きている信徒の「分かち合いの場」を設ける)が、ブロック会議において提案される。

■ 行事予定
四ページの行事予定欄に記載
広報部フェイスブックに関して、投稿が教会による公式なものか第三者による非公式なものかを区別するため、フェイスブックの公式アカウントを新規取得した。

施設管理部 ① 前庭植木の業者依頼の剪定は完了② 八月三十日教会美化デー実施予定

配布した。南山大付属小学校五年生の宿泊合宿は九月四日に変更となり、協力の予定。十一月十三日(金)横浜雙葉学園中学修学旅行の際の勉強会への協力要請があり、七月五日に打ち合わせ会実施

カトリック教会と 第二バチカン公会議

カトリックとは、ギリシャ語で「普遍的な」「世界的な」「公の」という意味をもつ形容詞「カトリコス」に由来します。古典ギリシャ語では、「特殊」の反対を意味し、「すべてに妥当する」という意味で用いられていました。最初にこの語を使ったのはアンティオキアの聖イグナチオで、107年頃スミルナの教会に宛てて書き送った手紙の中で「キリストが、全(カトリック)教会の頭である」と記しています。

こうして、全地方に存在するキリスト教の教会全体を指して「カトリック教会」と言われるようになりました。しかし、本来一つであるはずのキリストの教会は、11世紀に、ローマ教皇の首位権を認めない東方諸教会と、16世紀には、プロテスタント諸教会、聖公会と分裂してしまいました。そして、「カトリック教会」とはローマ教皇を首長とする「ローマ・カトリック教会」だけを指すようになったのです。

カトリック教会の2000年の歴史の中で最も画期的な出来事と言われる**第二バチカン公会議**は、1962年からローマで開催されました。この会議は、325年の第一

ニケア公会議から数えて第21回目の公会議となり、**教皇ヨハネ23世**が「**教会の現代化と現代世界への適応**」を目指して開催を決定されたのです。



教皇は開会演説の中で、「カトリック教会内部の一致、カトリック者と他のキリスト者との間の一致、カトリック者とキリスト教以外の人々とを結び合わせる尊敬と善意による一致」を訴えました。ヨハネ23世は翌年亡くなりましたが、公会議は**パウロ6世教皇**によって引き継がれ、1965年に終了しました。その後の二人の教皇が、それまで教皇史になかった「**ヨハネ・パウロ**」を名乗っているのは、この公会議の精神を受け継ぐことを宣言してのことだったのです。

第二バチカン公会議では**4つの憲章**と、**9つの教令**と**3つの宣言**が公布されました。『カトリック大事典』によると、公文書の教説は、次のように要約されています。

①**キリスト中心**。イエスの死と復活という救いの秘義は、宣教、教理、典礼、霊性、教育等のあらゆる営みの真髄であり枢軸である。

②**聖書中心**。信者の一人ひとりが、自ら、直接、聖書を読み、学び、その教えを生活の場で実行するよう努める。

③**典礼の重視**。典礼は神の民の全体が、それぞれの言葉を用いて積極的に行う共同体としての礼拝であり、教会の全活動の頂点である。

④**神の民としての教会**。信者は皆、キリストの預言職・祭司職・王職にあずかる「神の子ら」であり、教会の諸活動の主体である。

⑤**司教職の団体性の強調**。教皇を囲む司教団は団体として行動する。

⑥**各地域の教会の独自性**、各文化独自の価値を尊重。

⑦**教会外の人々への関心**。カトリックから分かれたキリスト教諸教会・教団、キリスト教以外の諸宗教、すべての人に近づき、彼らと対話・協力し、全人類の相互理解と一致のために働く。

⑧**貧しい人々、虐げられた人々との連帯**。教会は、権力者の側にくみせず、「小さい人々」の代弁者となる。

⑨**信教の自由の確認**。

⑩**絶え間ない刷新をうたう将来志向の姿勢**。

第二バチカン公会議から50年を経た今、わたしたちは改めて公会議の内容を学び、深めていきたいものです。(編集委員)

【参考：『よくわかるカトリック』
小高毅著、教文館】

河原町教会七月評議会報告要約

開催日 二〇一五年七月五日(日)

司祭団の報告

①待降節第一主日(十一月二十九日)から典礼が一部変更されるため、九月か十月にブロック研修会を実施予定②八月は司祭団の不在が多くなるため、朝ミサ等休みになる可能性もある。

部会報告

典礼部 ①主日受付奉仕者は、受付担当時間以外のミサに与るようにする。

②八月二日平和祈願ミサにおける済州教区合唱団の聖歌奉仕について、担当の夫神父と聖歌隊長で打ち合わせをした。

財務部 上半期決算報告…上半期の教会維持献金実績は昨年度比一〇%減少している。維持献金への更なる協力依頼の方策を検討する。

教育部 ①土曜学校夏の錬成会の参加申し込みを締め切った(申し込み者数は大人も含め三十五名)。中高生のサブリーダーを募集中。七月十一日に一学期終業式②中高生会 六月二十八日コーヒーションの売り上げはカリタスを通しネパール地震支援として送った。七月十二日に一学期終業式。教区高校生会「チエジユ教区青年信仰大会」参加予定は二名。教区「中学生広島巡礼」参加予定者七名③エリの集い 六月二十日総会開催④ザビエル訪れ会訪問者予定リストを見直し、訪問活動を再開。七月十九日(十時半ミサ後)例会予定⑤キリシタン研究会機関誌「二〇一五証灯春季号」を作成、

◆ 2015年8月・9月の行事予定 ◆

(9月は予定です。変更の場合があります)

月	日	曜	行 事 予 定
			「河原町教会平和祈願ミサ」10:30 司教ミサ(済州教区子ども合唱団奉仕)
	2	日	済州教区助祭との交流会 10:30 ミサ後(1F 集会室) 評議会8月例会 13:00 京都済州姉妹教区交流10周年記念チャリティーコンサート(東日本支援) 16:00
	5	水	～7日(金)教区中学生広島平和巡礼
8	6	木	主の変容 日本カトリック平和旬間(～15日)
	9	日	「教区一斉平和祈願ミサ」10:30 平和旬間行事 10:30 ミサ後
	10	月	～12日(水) 土曜学校錬成会
	15	土	聖母の被昇天 ミサ 7:00・10:30 主日のミサ 18:30
	29	土	教区教会学校研修会 10:00
	30	日	田中司教霊名〈ライムンド8/31 記念日〉のお祝い 10:30 教会美化デー
	6	日	評議会9月例会 10:30 ミサ後
9	14	月	十字架称賛
	20	日	敬老感謝ミサ 10:30 敬老懇親会 10:30 ミサ後
	27	日	世界難民移住移動者の日

「平和を願う祈り」 アジジの聖フランシスコ

神よ、わたしをあなたの平和の道具にしてください。
 憎しみのあるところに、愛を いさかひのあるところに、ゆるしを
 分裂のあるところに、一致を 迷いのあるところに、信仰を
 誤りのあるところに、真理を 絶望のあるところに、希望を
 悲しみのあるところに、喜びを
 闇のあるところに、光をもたらすことができますように。
 神よ、わたしに、慰められるよりも慰めることを
 理解されるよりも、理解することを
 愛されるよりも、愛することを望ませてください。
 自分を捨てて初めて自分を見いだし、
 ゆるしてこそゆるされ、死ぬことによるのみ、
 永遠のいのちによみがえることを
 深く悟らせてください。



◆ 広報部からのお願い

皆さまのご家庭に眠っている未使用の切手がありましたら、事務室までお届けください。「河原町教会だより」の教区内全小教区・希望者等への郵送に使用させていただきますので、ご協力をよろしくお願い致します。

2015年平和旬間行事

8月9日(日)10:30 ミサ後
ヴァリオンホール

「いま一度平和を考える」～広島平和アピール～

1981年の記録DVD『平和の巡礼者ヨハネ・パウロⅡ世』を鑑賞し、
 分かち合いの時を持ちます。皆様ぜひご参加ください。

河原町教会 ミサの時間

日曜日(主日のミサ)

7:00
 10:30
 12:00 (英語 第2・4)

月曜日 6:30
 火曜日 6:30 18:30
 水曜日 6:30 18:30
 木曜日 6:30
 金曜日 6:30 18:30
 土曜日 6:30
 18:30 (主日のミサ)

信仰の学びのお知らせ

◇信仰入門講座◇

(1F 集会室、3F 応接室)

火曜日 10:00(第4・5・祝休) モンロイ神父(1F)
 水曜日 10:00 村上眞理雄神父(1F)
 19:00(第1・5・祝休) 一場修神父(1F)
 木曜日 15:00(第5・祝休) 一場修神父(1・3F)
 金曜日 19:15 村上透磨神父(1F)
 15:00 シスター庄子(3F)

◇洛東ブロック信徒養成講座◇

【河原町教会】

第1水曜日 19:00～20:30 一場修神父

【山科教会】

毎金曜日 9:30ミサ後 モンロイ神父

【伏見教会】

毎火曜日 10:00ミサ後～11:30 一場神父

【桃山教会】

第1・2・4金曜日 19:30～20:30 一場神父

◇南部地区信徒養成講座◇

(1F 集会室)

北村 善朗神父 「祈りを学ぶ」

9月24日(木) 14:00

テキスト:『カトリック教会のカテキズム要約』

◇聖書通読会◇

(1F 集会室) 毎週金曜日 14:30～16:00

※通読会は9月25日で終了となります

◇レクチオ・ディヴィナ◇

(都の聖母小聖堂)

毎月/第3火曜日 10:30

※参加ご希望の方は事務室まで

[8月は休会です]